

○ブラックスタート入札募集要綱（案）への意見等

番号	該当箇所	意見・質問等	回答
1	全体	<p>現在、考えられている支払い額の考え方では、ブラックスタート機能公募と容量市場でのkW価値の2重取りを防止するため、容量市場から当該電源に支払われる対価（固定費）に相当する金額をブラックスタート機能公募での支払額から控除する仕組みとなっている。</p> <p>この考え方では、ブラックスタート公募によらず対価（固定費）の回収ができる発電所の場合に、ブラックスタート機能を維持するインセティブが減少してしまう。（容量市場等で通じて得た利益を持ち出してブラックスタート機能を維持する必要がある）</p> <p>このインセティブが減ることに対するフォローの仕組みの構築を要望する。</p>	<p>第42回制度設計専門会合（資料6 P10）における整理により「控除する額の上限は、ブラックスタート機能公募の入札金額とする（対価0）」とされており、必要な費用は、容量市場から当該電源に支払われる対価に相当する金額にて回収することについて、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
2	全体	<p>将来、系統強化等の理由によりブラックスタート機能が不要となるケースが想定される。</p> <p>発電事業者として必要なブラックスタート機能については用意するものの、不要となった場合に過剰な設備を保有する事となるため、将来にわたりブラックスタート機能が必要な系統について個別に協議又は情報開示していただくことを要望する。</p>	<p>ブラックスタートの必要量については、現時点で将来的な見通しをお示しすることができないことについて、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
3	P1-（1） 一般注意事項 六つ目 「・」	<p>「・以下のいずれかに該当する関係にある者らによる複数の応札は認めないものといたします。」とあるが、容量市場においては資本関係を有する会社からの応札は可能であると認識している。</p> <p>応札ができない場合、同一電源に対しブラックスタート公募と容量市場で支払いを受ける会社が異なる場合も考えられることから、容量市場と同様に応札を認めるべきではないか。</p> <p>また、大半のエリアにおいて当該記載はなく、なぜ北海道エリアにおいて求められるのか確認したい。</p>	<p>公正な入札の観点から、グループ内応札者同士による事前調整等を防ぐ目的で、当社が実施する公募においては記載しております。</p>
4	P8-（2） 契約電源等の運用-a. 全系統ブラックスタート-（e）変圧器インラッシュ対策	<p>「・ブラックスタートに必要な変圧器加圧時などに運転継続が可能であること、および系統過電圧等が発生するおそれがある場合はその対策として試送電機能が必要です。（シミュレーション等にて確認をしていただく場合があります。）」とあるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試送電機能を必要とする系統を提示頂きたい</li> <li>・少なくとも他エリアでは、TSOにおいてシミュレーションを実施するようであり、北海道エリアにおいてもTSOにシミュレーションを実施して頂きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で試送電機能を必要とする系統はございません。</li> <li>・「シミュレーション等にて確認をさせていただく場合があります」と修正します。</li> </ul>
5	P8-（2） 契約電源等の運用-a. 全系統ブラックスタート-（b）定期点検、補修停止期間調整の応諾	<p>「・定期点検、補修作業等による計画停止を予定している場合、他発電所等の作業との重複等を避けるため、必要に応じて期間の調整をさせていただく場合があります。その場合、調整に応じていただきます。」とあるが、b. 一部系統ブラックスタートの（b）補修作業期間調整「・補修作業期間については、必要に応じて期間の調整をさせていただく場合があります。」と記載を統一して、「その場合～」以下を削除していただきたい。</p> <p>そうでなければ、やむを得ず調整に応じられない場合も考えられることから、「その場合」以下に「特別な事情がない限り」の文言を追加いただきたい。</p>	<p>「特別な事情がない限り」を追加いたします。</p>
6	【誤記】 P3-2. 用語の定義 -（7）ガバナフリー 運転機能	<p>「発電機の回転速度を負荷の変動の如何にかかわらず、一定の回転速度を保つように、動力である蒸気および水量を自動的に調整する装置である調速機（ガバナ）により、系統周波数の変化に追従して出力を増減させる運転を行う機能をいいます。」</p> <p>（誤）および⇒（正）または</p>	<p>反映いたします。</p>

7	<p>【誤記】 P 7-6. 入札の条件 - (1) 契約電源等の機能 - a. 全系統ブラックスタート - (d) 専用オンライン信号の送受信機能</p>	<p>「セキュリティ対策として電力制御システムに適用する「電力制御システムセキュリティガイドライン」(JESCZ0004 (2016)) に準拠したものとさせていただく必要があります。」 (誤) JESCZ0004 ⇒ (正) JESCZ0004</p>	<p>反映いたします。</p>
8	<p>【誤記】 P 1 2 - (2) 入札書への添付書類(様式のあるものは、別添様式に従って作成して下さい。)</p>	<p>「b. 発電設備の仕様(様式3)」 「c. 発電設備の主要運用値・起動停止条件(様式4)」 様式3 ⇒ (様式3の1または様式3の2) 様式4 ⇒ (様式4の1または様式4の2および様式4の3)</p>	<p>反映いたします。</p>

○ブラックスタート電源提出様式(案)への意見等

番号	該当箇所	意見・質問等	回答												
1	様式6 運用条件に関する事項	「計画停止の時期および期間等」欄に「※現時点で確からしい計画がない場合、未定と記載し、2022年9月末までに契約期間内における定期検査等の実施時期や、その期間を連絡いただきます。」とあるが、停電計画が定まらないため2022年10月末に変更して欲しい。	2022年9月末までに一度、ご連絡いただきますようお願いいたします（提出以降の調整を認めないものではありません）。												
2	【意見】 様式1-入札申込書	以下、朱書き部の追加が必要か <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1. ブラックスタート機能の種別</td> <td>全系統ブラックスタート 一部系統ブラックスタート(●●系統)</td> </tr> <tr> <td>2. 発電機等所在地および名称</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. ブラックスタート機能を具備する主機の名称、契約電力(送電端値)</td> <td>●号機●●●●●kW</td> </tr> <tr> <td>4. 非常用発電機等の種別と出力</td> <td>エンジン発電機 (●●kW●台) 圧油用水車 (●台) 水車発電機 (●●kW●台) 蓄電池 (●●Ah)</td> </tr> <tr> <td>5. 入札価格</td> <td>1式円</td> </tr> <tr> <td>6. 計量器の有無</td> <td>有・申請中</td> </tr> </table>	1. ブラックスタート機能の種別	全系統ブラックスタート 一部系統ブラックスタート(●●系統)	2. 発電機等所在地および名称		3. ブラックスタート機能を具備する主機の名称、契約電力(送電端値)	●号機●●●●●kW	4. 非常用発電機等の種別と出力	エンジン発電機 (●●kW●台) 圧油用水車 (●台) 水車発電機 (●●kW●台) 蓄電池 (●●Ah)	5. 入札価格	1式円	6. 計量器の有無	有・申請中	反映いたします。
1. ブラックスタート機能の種別	全系統ブラックスタート 一部系統ブラックスタート(●●系統)														
2. 発電機等所在地および名称															
3. ブラックスタート機能を具備する主機の名称、契約電力(送電端値)	●号機●●●●●kW														
4. 非常用発電機等の種別と出力	エンジン発電機 (●●kW●台) 圧油用水車 (●台) 水車発電機 (●●kW●台) 蓄電池 (●●Ah)														
5. 入札価格	1式円														
6. 計量器の有無	有・申請中														
3	【要望】 各様式共通	「(有または無のいずれか一方を○で囲んでください)」の記述に対し、○囲みを止め、「削除」する記載方法として欲しい。	・入札者が意図して削除したものか、誤って削除したものかの判別が出来ないため○(マル)で囲む方法とさせて頂いております。ご理解をよろしく申し上げます。												
4	【意見】 様式4の2	・「発電機名」⇒「発電所名」、「認可最大電力」⇒「最大出力」、「(m <sup>3</sup> /S)」⇒「(m <sup>3</sup> /s)」 ・「(揚水動力)」とは何を記載するのか？(最大入力?) ・「(揚水動力)」に※を追記 ・使用水量は、発電時の値だけでよいか	・「発電機名」:「発電所名」とします。 ・「認可最大電力」:「最大出力」とします。 ・「(m <sup>3</sup> /S)」:「(m <sup>3</sup> /s)」とします。 ・「(揚水動力)」には揚水時の最大入力を記載願います。 ・使用水量は発電時の値で良いです。												
5	【確認】 様式4の3	・火力用の様式なのか? ・水力用は必要ないのか? ・下流に制約がある場合の出力パターン等の運用条件を記載する様式が必要ではないか?	・火力・水力ともに様式4の3を使用してください。ただし、水力について、下流に制約がある場合の出力パターン等の運用条件が存在する場合は、様式4の3に替えて、追加資料を提出いただくよう追記いたします。												
6	【誤記】 様式4の3	「発電機名」⇒「発電所名」、「認可最大電力」⇒「最大出力」、「最低電力」⇒「最低出力」	・「発電機名」:号機毎に記載いただくため、そのままとします。 ・「認可最大電力」:「最大出力」とします。 ・「最低電力」:「最低出力」とします。												

○ブラックスタート機能提供に関する契約書(案)への意見等

番号	該当箇所	意見・質問等	回答
1	【誤記】 P3-第6条-(2)	「甲は、ブラックスタート機能等に不具合が生じた場合、速やかに乙に連絡のうえ、遅滞なく復旧すること。」 ⇒「甲は、ブラックスタート機能等に不具合が生じた場合、速やかに乙に連絡のうえ、遅滞なく復旧できるよう努めること。」 ・要綱では「不具合の発生時には、速やかに当社への連絡のうえ、遅滞なく復旧できるよう努めていただきます。」となっているため	反映いたします。